

# 保育・幼児教育学科[2年制]

<b>目 標</b>	●保育士[国家資格]・幼稚園教諭二種免許状[国家資格]・社会福祉主事任用資格の取得 ●プロとして通用する人間力「心・体」(意識・マナー…一般教養・表現力・体力など)を身につける。 ●精神・身体両面から子どもを育み、健やかな成長をサポートできる知識・技術を身につける。
<b>めざす資格など</b>	●保育士資格[国家資格] ※卒業と同時に取得 ●幼稚園教諭二種免許状[国家資格] ※卒業と同時に取得 ●社会福祉主事任用資格 ※卒業と同時に取得 ●短期大学士

到達目標	1 年 次		2 年 次		科目内容
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	
<p>養護や教育の現場に携わる者として求められる基本的な知識を習得する。また、ピアノや運動、絵本の読み聞かせなどの技術を学ぶ。</p> <p>前期で学んだ基本的な知識をさらに学ぶとともに、保育者・教育者としてのあり方や子どもへの関わり方の基本を習得する。</p>	<p>1年次で学んだ基本をもとに、家庭や視野に入れた、知識や技術、判断力やまた、実習での学びを活かしながら、地域に対する役割も対応力を高める。めざす保育者像を明確にする。</p>	<p>実習を重ねながら、現場で必要とされる保育者や教育者になることをめざす。また、将来の自分の姿をイメージし、そのために必要な知識や技術などを主体的にしっかりと身につけていく。</p>	<p>保育者の役割や制度の検討を通して、専門職に関する造詣を深める。専門職に携わる人間に必要なとされ、求められる「子どもを知る」「子どもに働きかける」「実践を構成する」などの専門性の内容について理解する。</p>	<p>子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を学び、子どもの疾病とその予防法および、他職種間の連携・協働のもとでの適切な対応について理解する。</p>	<p>「保育」として通用する人間力「心・体」(意識・マナー…一般教養・表現力・体力など)を身につける。</p>
カリキュラム	<p>講義 教育原理</p> <p>講義 保育者論</p> <p>講義 社会福祉</p> <p>演習 劇あそび(指導法)</p> <p>講義 英会話I</p> <p>講義 乳児保育I</p> <p>実習 生涯スポーツ</p> <p>講義 幼児と言葉</p> <p>演習 言葉(指導法)</p> <p>演習 音楽表現(指導法)</p> <p>演習 幼児と環境</p> <p>演習 環境(指導法)</p> <p>講義 教育課程総論</p> <p>演習 造形表現(指導法)</p> <p>講義 情報処理入門I</p> <p>演習 ピアノI</p> <p>演習 総合演習I</p>	<p>演習 健康(指導法)</p> <p>講義 保育原理</p> <p>講義 教職概論</p> <p>講義 教育方法論</p> <p>講義 社会的養護I</p> <p>演習 保育実習事前事後指導I(保育所)</p> <p>演習 教育心理学</p> <p>講義 幼児の心理学</p> <p>講義 乳児保育II</p> <p>講義 日本国憲法</p> <p>講義 保育内容総論</p> <p>講義 健康科学</p> <p>実習 子どもと身体表現</p> <p>演習 幼児と音楽表現</p> <p>演習 人間関係(指導法)</p> <p>演習 教育実習事前事後指導</p> <p>講義 保育の計画と評価</p> <p>演習 ピアノI</p> <p>演習 総合演習I</p> <p>講義 幼児と人間関係</p> <p>講義 社会人基礎講座I</p> <p>演習 就職実務</p> <p>外実 保育実習I(保育所)</p>	<p>講義 子ども家庭支援の心理学</p> <p>講義 幼児への特別な支援</p> <p>演習 障害児保育</p> <p>講義 社会的養護II</p> <p>演習 保育実習事前事後指導I(施設)</p> <p>演習 子育て支援</p> <p>講義 子ども家庭福祉</p> <p>講義 子ども家庭支援論</p> <p>講義 保育の心理学</p> <p>講義 子どもの保健</p> <p>講義 教育相談</p> <p>講義 子どもの食と栄養</p> <p>演習 幼児と造形表現</p> <p>演習 児童文化</p> <p>演習 子どもとピアノ</p> <p>演習 総合演習II</p> <p>講義 社会人基礎講座II</p> <p>外実 教育実習I</p> <p>外実 保育実習I(施設)</p>	<p>演習 保育・教職実践演習</p> <p>演習 幼児と健康</p> <p>演習 子どもの健康と安全</p> <p>演習 児童文化</p> <p>演習 音楽表現技術</p> <p>演習 子どもとピアノ</p> <p>演習 総合演習II</p> <p>外実 教育実習II</p> <p>外実 保育実習II</p>	<p>「保育とは何か」ということに関する理解と考察を深め、保育者として子どもや保護者に関わるために必要となる基本的な視点や取り組み姿勢を深める。</p> <p>子どもの犯罪・虐待、また家族機能の変化などによって、子どもの健やかな成長が妨げられている現状について問題意識を持ち、家庭福祉における今後の課題としてどのように取り組んでいくべきか総括的に考察できる力を養う。</p> <p>健康な生活の基本としての食生活や食育の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について学ぶ。</p> <p>人間の発達を生涯発達の視点からとらえ、それぞれの発達段階を理解し、発達期における課題と特徴、また心のありようを学ぶ。発達期における対人関係の重要性を学び、保育者と子どもとの連鎖的関係を理解する。</p> <p>子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。また、ニーズに応じた多様な支援の展開と現状や課題、その体制について学ぶ。</p> <p>子どもの自発的表現力を高め、豊かな感性を育てることをねらいとしている。自然やまわりの身近な環境と関わりあって、自然物を使って自由な発想で造形活動を楽しめる感性を育てる。</p> <p>現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について理解する。その上で、社会福祉と児童福祉および児童の人権や家庭支援との関連性について学ぶ。</p> <p>さまざまな障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について学び、障害のある子どもの保育計画を作成し、個別支援および、他の子どもとの関わりの中で保育実践について理解する。</p> <p>初めに教育の意義・目的および児童福祉等との関わりについて学ぶ。その上で、教育の思想と歴史の変遷について学び、今日の教育に関する基礎的な理論について理解する。</p> <p>保育の過程における心理学的法則や事実を理解し、効果的な保育を展開するための教育心理学の基本的事項について理解する。</p> <p>「いじめ」「不登校」など子ども達の「こころ」をめぐる多様な問題に対し、周りにいる大人達の役割や対応はどうかを学んでいく。また、カウンセリングの基礎知識を学び、子ども達や親に対する基本的援助の方法を学ぶ。</p> <p>将来保育現場に就いた際、自己に必要な能力は何か、自己の課題を自覚し、自らが必要に応じてその資質能力の向上に努めることをめざす。保育現場の多様な場面で臨機応変に対応できる力を養い、実践的指導力を身につける。</p>
試験	前期末試験	後期末試験	前期末試験	後期末試験	
スケジュール	<p>4月 入学式 新入生オリエンテーション</p> <p>5月 ボウリング大会</p> <p>8月 スクーリング 夏休み</p> <p>9月 おぎやつと21</p> <p>10月 防災訓練 学園祭</p> <p>11月 スポーツ大会</p> <p>12月 スクーリング 冬休み</p> <p>2月 保育実習I</p> <p>3月 スクーリング 学びフェス 春休み 校内合同 企業セミナー</p>		<p>5月 教育実習</p> <p>7月 保育実習I(施設)</p> <p>8月 スクーリング 夏休み</p> <p>9月 おぎやつと21</p> <p>10月 防災訓練 学園祭</p> <p>11月 保育実習II</p> <p>12月 スポーツ大会</p> <p>2月 冬休み</p> <p>3月 春休み 学びフェス 卒業式</p>		